

参加無料

申込先



県立長野図書館
ホームページ



第8回

信州 知の連携 フォーラム

2024年 11月 1日 (金)
13:00 ~ 16:30 (受付 12:30)

県立長野図書館

3階 信州・学び創造ラボ (長野市若里 1-1-4)
YouTube によるライブ配信も予定しています。



長野県の知と学びに関わる各種機関
(博物館・美術館・図書館など) が集結。
信州の「値と知と地」、価値ある知の
地域資源の共有化について語ります。
知と学びに興味があるかたのご参加を
お待ちしております。

主催
県立長野図書館

共催
長野県立歴史館
長野県立美術館
信州大学附属図書館
信州アーツカウンシル

テーマ

「楽しみ」から始めようー「地域を知る」ってどんなこと？

災害や気候変動、地域社会の存続など、現代を生きるわたしたちは、さまざまな課題を抱えています。一方でわたしたちは、先人の知恵や自然の恵みを受け取りながら、多くの危機を乗り越えてきました。先人の営みが形となった地域資源は、わたしたちの宝です。

近年、信州各地では、これらの地域資源を保全・活用する取組がさまざまな形で展開されています。そこに通底しているのは？…どうやら「楽しむ」というコトバに、ヒントがありそうです。

今回のフォーラムでは、さまざまな実践例を通じて、「楽しみ」の輪を広げていきたいと思います。

13:00 ~ 13:10 開催挨拶・趣旨説明

13:10 ~ 14:10 基調報告「地域・時代を超えて文化をつなぐ - キーワードは "楽しさ" と "美味しさ"」
白水 智 氏 / 中央学院大学教授

14:10 ~ 14:40 事例報告「東伊那区誌『峯高く』編さんから拡がる地域の活性化」
春日 由紀夫 氏 / 駒ヶ根市東伊那公民館館長
福澤 浩之 氏 / 伊那市立高遠町歴史博物館学芸員
松原 洋一 氏 / 長野県南信工科短期大学校教授

15:00 ~ 15:30 事例報告「環境変化を民話で楽しく学ぶには？～演劇とパフォーマンス～」
姫凜子 氏 / ちいさがた未来民話研究会代表

15:30 ~ 16:20 質疑応答・パネルディスカッション

16:20 ~ 16:30 閉会挨拶

基調報告

地域・時代を超えて文化をつなぐ - キーワードは "楽しさ" と "美味しさ" -



栄村地域史料保全有志の会は、2011 年の長野県北部地震をきっかけに発足。古文書・民具・考古を中心に、文化財保全活動を継続しています。人が交流し、地域史料の集積や情報発信の拠点となる歴史文化館「こらっせ」も実現しました。

長く継続する秘訣は「楽しむ」ことです。食の楽しみや、語り合う楽しみの中から、専門性を超えたつながりが広がった 13 年間の軌跡を振り返り、文化財保全活動の楽しみ方・続け方を語っていただきます。

白水 智 氏 / 中央学院大学教授

1960 年生まれ。現在、地域史料保全有志の会代表、中央学院大学教授。歴史調査のために通っていた長野県栄村が 2011 年に大地震で被災後、文化財のレスキュー、保全活動を開始。文化財を身近なものとしていかに後世に残していくか、地域の歴史文化、食文化を楽しみながら有志で救出古文書の整理を続けている。この活動をいかに地域に引き継いでいくかが今後の課題と考えている。



事例報告 東伊那区誌『峯高く』編さんから拓がる地域の活性化

150 周年を迎える駒ヶ根市東伊那では、区誌『峯高く』の編さんが進行中。地域をよく知る人、古文書が読める人、デジタルに強い人など、得意分野を活かしながら、デジタル化した地域資料と区誌と紐付ける「ハイブリッド風土記」を目指されています。多方面に広がる生き生きとした活動の楽しさを、それぞれのお立場から報告いただきます。

春日 由紀夫 氏

駒ヶ根市東伊那公民館館長

1957 年 11 月 26 日生まれ。駒ヶ根市東伊那出身。38 年間県内各地の義務教育学校にて教員を務める（内 5 年間は信州大学附属長野小学校に勤務）。伊那北小学校長にて退職。伊那市教育委員会子ども相談室勤務（1 年間）、駒ヶ根市立図書館館長（2019 年～ 2020 年）、駒ヶ根市東伊那公民館館長（2021 年～）。

福澤 浩之 氏

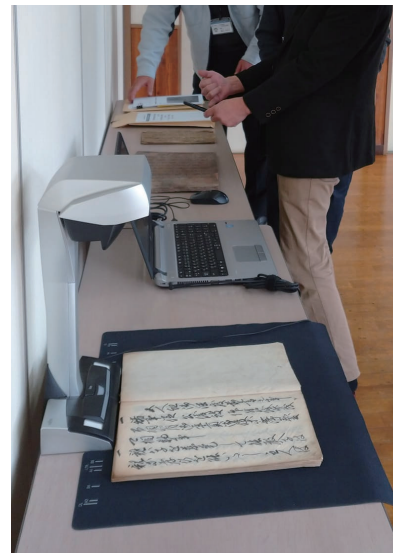
伊那市立高遠町歴史博物館学芸員

伊那市出身。立正大学文学部卒（社会学学士）。学芸員資格取得。2016 年から伊那市職員（学芸員）。高遠町歴史博物館に配属となる。現在は伊那市教育委員会事務局生涯学習課文化施設係高遠町歴史博物館主査兼市誌編さん室主査。学芸員として博物館の展示の企画、古文書講座の運営、収蔵資料の整理や地域史料の調査・研究、古文書の解説に携わる。専門は近世史。上伊那郷土研究会『伊那路』編集委員。

松原 洋一 氏

長野県南信工科短期大学学校教授

30 年弱の間、地元伊那谷の民間企業において、画像処理システム開発・FA システム関連のソフトウェア開発に従事。2019 年信州大学大学院総合工学系研究科博士課程修了後、長野県南信工科短期大学学校教授として現在に至る。現在、SUWA 小型ロケットプロジェクトのプロジェクトリーダーとして小型ロケット開発に携わる。また、伊那市露地野菜コンソーシアムの開発リーダーとしてアスパラガス収穫機の開発にも携わっている。



事例報告 環境変化を民話で楽しく学ぶには？～演劇とパフォーマンス～



ちいさがた未来民話研究会では、過去の気候変動に関わる民話の調査や、近年の環境変化で市井の人々に起こった出来事を採集、演劇や音楽で新しい民話を創作・発表しています。

本から学ぶのは少しハードルが高いですが、演劇なら若い世代の人にも見てもらいやすく、伝わりやすい。「伝承」で大切な「面白さ」や「楽しさ」についてお話しいただきます。

姫凜子 氏 / ちいさがた未来民話研究会代表

ちいさがた未来民話研究会主宰。本名・安徳ゆうこ。演劇やパフォーマンスの企画・出演の傍ら、上田市移住をきっかけに信州の民話の収集を開始。演劇や音楽のパフォーマンスを行う「ちいさがた未来民話研究会」を 2023 年に結成。地域に伝わる民話や伝承を元に様々な方法で創作し表現。コアなアーティストから一般の方まで楽しめる作品づくりを目指す。近年は信州の災害民話の土地をリサーチし、体感を元にした創作を行う。民話や伝承を普及してファンを増やすため、調査・創作活動を継続。